

地域おこし協力隊 かわら版

協力隊インタビュー 森田 隊員



熱塩加納町上根岸にて動画撮影中の様子。



訪問先で会話を楽しむ地元の方と森田隊員（右）



車を持たずにチャリ生活を満喫。

森田 正明 隊員(熱塩加納町担当)

着任日：2019年8月1日着任

前住所：神奈川県横浜市から移住

活動内容：映像による農業復興、農産物 PR など



熱塩加納町協力隊公式ホームページ

<https://ak.nowdo.com>

Q1 ▶ 協力隊に赴任したきっかけは？

南関東で生まれ育ち、20代で延べ100か国を廻り、国内は数知れず。外観しか見てない豊富な経験で地域おこしができると勘違い。春の飯豊山塊に惚れ込んで来ました！

Q2 ▶ 協力隊としてどんな活動をしている？

30年以上TV番組、企業VP制作をしてきた経験を活かし、映像による地域のPR、発信ネタには事欠かない…有機無農薬農業の記録や小中学校農業科の密着取材など、1日50時間ほど欲しい。プライベートは車を持たずにチャリ生活（通勤や買い物がめっちゃ楽しい）3年通せるか人体実験中。

Q3 ▶ 協力隊活動のやりがいは？

YouTube熱塩加納Weeklyは1年で80本、熱塩加納ブログを作ったり、でもそれ以上に地元の方たちとの触れ合いが楽しい。毎日変わる自然、チョウゲンボウなど鳥探しも楽しく、徒歩やチャリにしか見えない光景に双眼鏡は必須。

Q4 ▶ 熱塩加納町のおすすめのポイントは？

町内3校の給食は地元の無農薬野菜を使用。蕎麦は個人的に熱塩加納がダントツ日本一。広葉樹林帯の織りなす新緑、コナラまで紅葉して感涙。屋敷林にオオタカが住み、ギンヤンマが飛び交う。

Q5 ▶ 熱塩加納町にどうなってほしいですか？

四文字熟語「熱塩加納」がブランド化し、町全体が「人の営みと自然が調和する」大きなテーマパーク。郷土料理に舌鼓、温泉、農村お散歩ウォーク、登山、サイクリング、自然観察、ビオトープ、染織、写生、撮影、音楽、聞こえてくる会話（方言は民族楽器！）、そして魅力的な農林業・・・ここに来れば楽しい事が必ず見つかる町。

Q6 ▶ 喜多方市の皆さんへPR!!

子育て世代のみなさん、熱塩加納で子育てしませんか？

発行：地域振興課

制作：NPO法人かけはし

(0241-24-5306)